

薬剤師への相談を促進するための慢性疾患患者への啓発の検討

○野村香織、三橋能弘、程島直子、栗原理、中畑智予、工藤香代子、岸野淳二、宮武昌也、米澤晴子、井手口直子、後藤恵子
くすりの適正使用協議会 くすりのしおりコンコダンス委員会

【背景】

処方薬について医師や薬剤師に尋ねた事がある人よりも、尋ねたことが無い人の方が多く、薬剤師よりも医師から処方薬の説明を聞きたいと考えている人が多いという報告がある。¹⁾ 患者と薬剤師とのコミュニケーションを充実させ、ひいては患者の医薬品リテラシーの向上に繋げるために、コンコダンスの考えに基づき、患者(脳梗塞経験者)と薬剤師がコミュニケーションをとりながら治療のパートナーとして取り組んでいく姿を短編ドラマ(動画)にし、啓発資材を作成した。

【目的】

- (1)動画を通じて患者は医療者(薬剤師)とのコミュニケーションの重要性に気づくことができたかどうかを確認する
- (2)慢性疾患患者が考える「薬剤師とのコミュニケーションの取り方・内容」の現状と期待を把握する

【方法】

オンラインで慢性疾患患者に動画を見てもらい、薬物治療におけるコミュニケーションについての考え方や動画に対する評価をウェブアンケートで調査した(2013年3月8日～22日 株式会社ネオマーケティング)。

【結果】

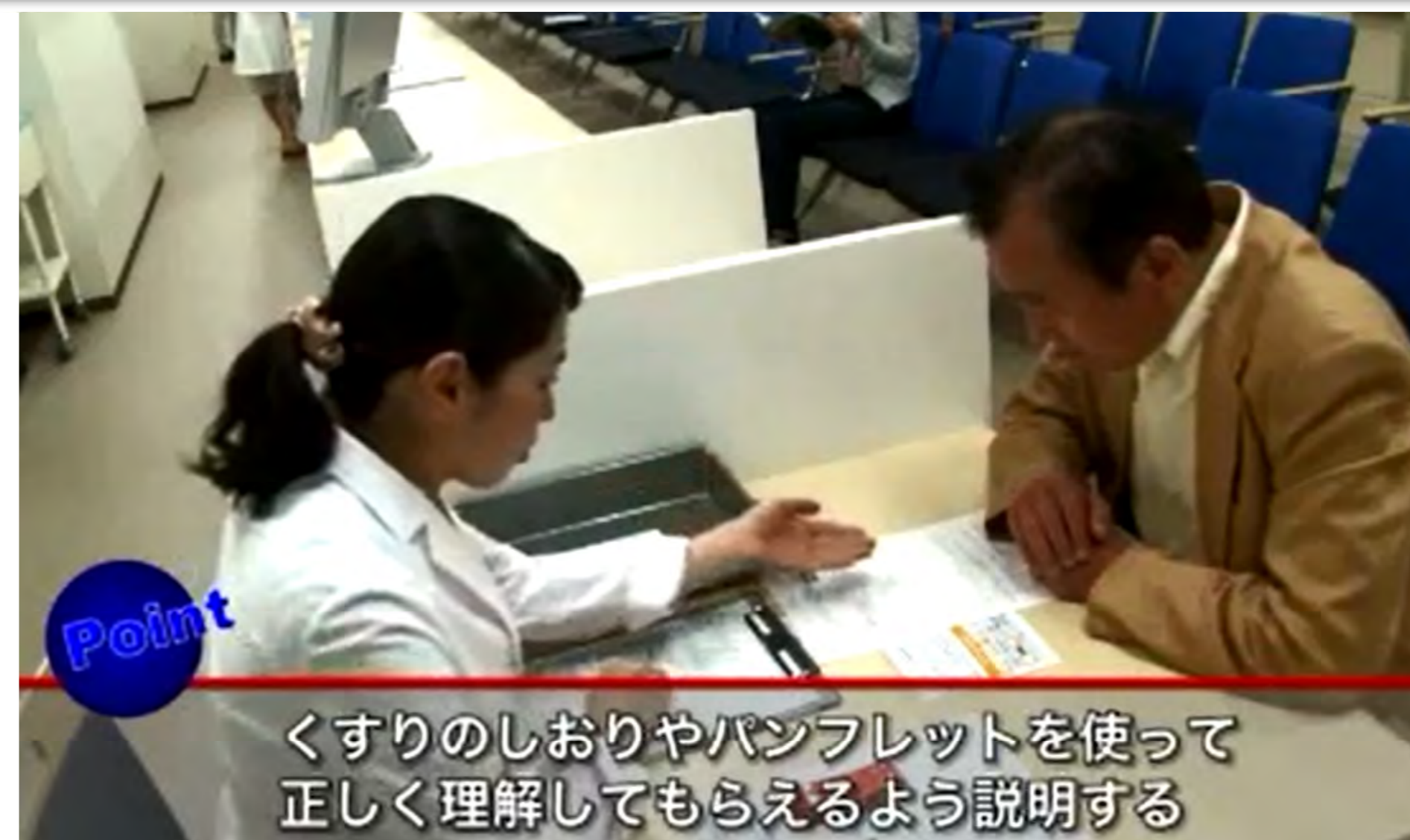
脳梗塞予防・再発予防中の患者(脳梗塞群)200名、その他の慢性疾患治療中の患者(慢性疾患群)300名から回答を得た(計500名 男78% 女22%)。疾患群別では、普段から薬剤師とよくコミュニケーションを取っていると回答したのは、脳梗塞群31%、慢性疾患群20%だった。動画視聴後は、脳梗塞群の41%が薬剤師と今よりもっと話してみたいと思ったと回答し、慢性疾患群は変化がなかった(21%)。くすりのしおりを見たいと思ったと回答したのは51%及び28%だった。

薬局で薬を受け取る時の「満足」「不満足」の経験

特になし: 259/500(人)

72件	満足	不満足	119件
✓説明が丁寧、解りやすい…26件		✓時間が掛かる…26件	
✓確認・アドバイスをしてくれる、親切、疑問に答えてくれる…23件		✓説明不足・説明がない…24件(聞きづらい)…7件(説明が難しい・解り難い)…5件	
✓(理由なく単に)満足…8件		✓わずらわしい…12件	
✓コミュニケーションが上手、良く話を聞いてくれる…6件		✓間違って処方…8件	
		✓プライバシー無視…6件	
		等	等

動画「一緒に話してみませんか？あなたと薬のこと」

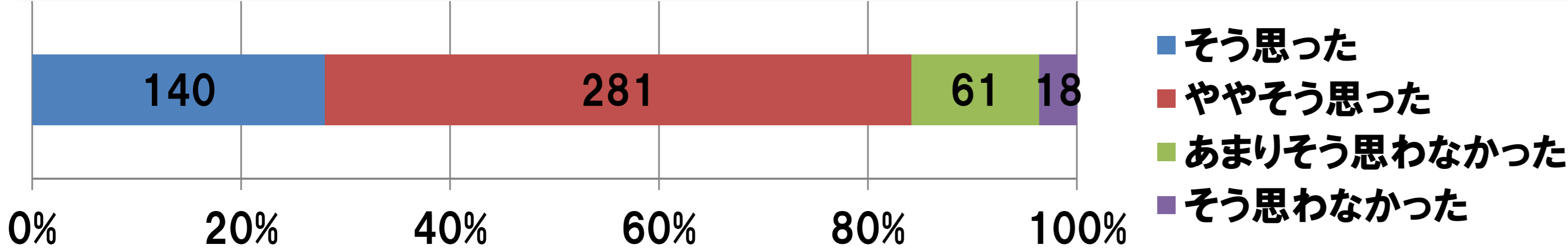


www.rad-ar.or.jp/siori/
シナリオ監修
後藤恵子(東京理科大学)
井手口直子(帝京平成大学)

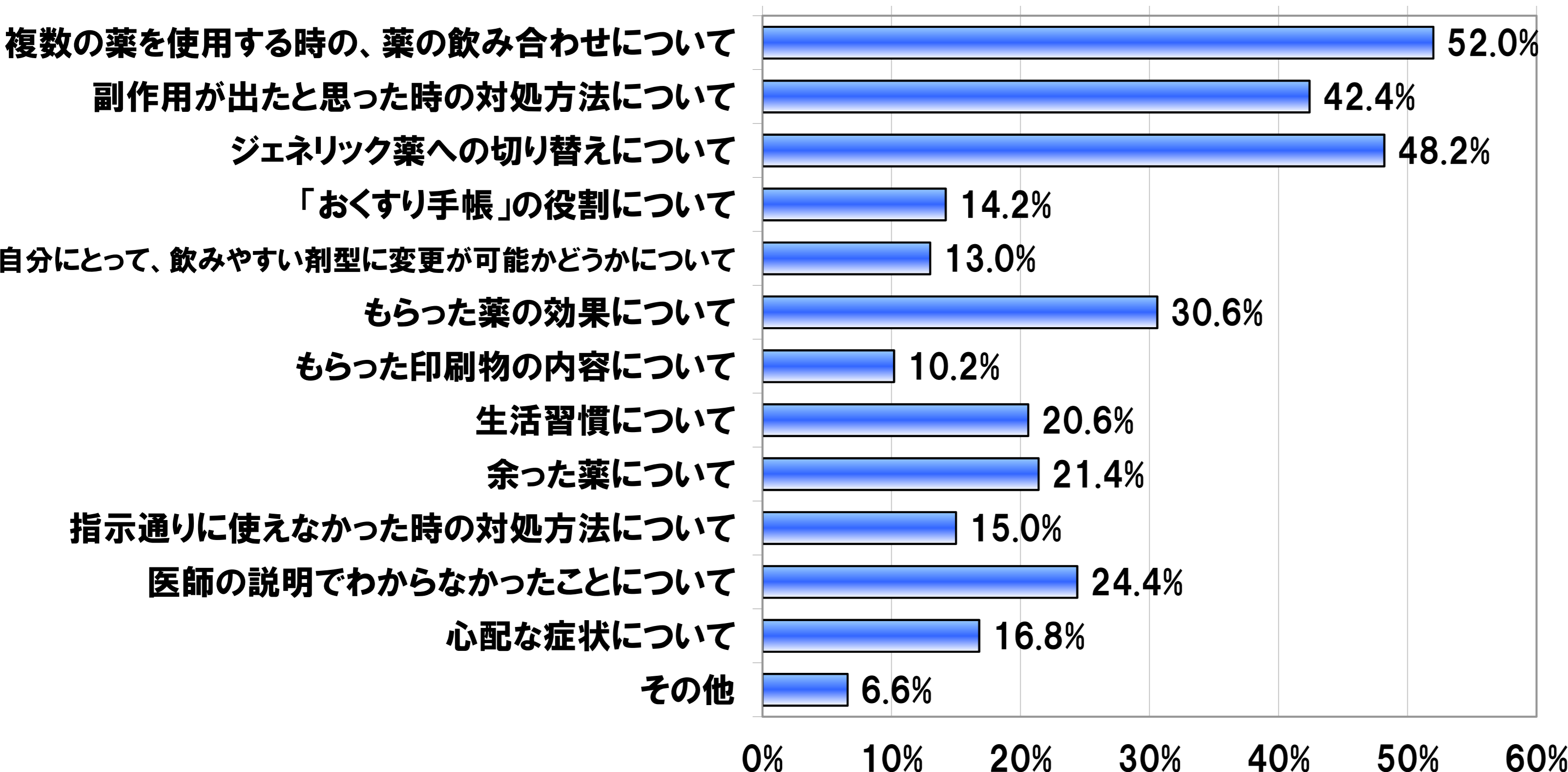
【考察】

動画の評価は概ね良好で、薬剤師とどのようなコミュニケーションが可能かを動画で患者に啓発することができた。脳梗塞は日本人の主要死亡要因であり、脳梗塞群は他の慢性疾患群よりも、日頃から適切な薬物治療への関心が高い事が窺えた。動画は脳梗塞をテーマとしたため、動画に対する理解度や薬剤師とのコミュニケーションに対する関心は脳梗塞群の方が高かったと考えられた。不満足の原因となっている薬剤師の説明を患者ニーズを踏まえて適切に行い、時間とプライバシーへの配慮を怠らないことで、薬局の満足度を上げることができると考えられる。

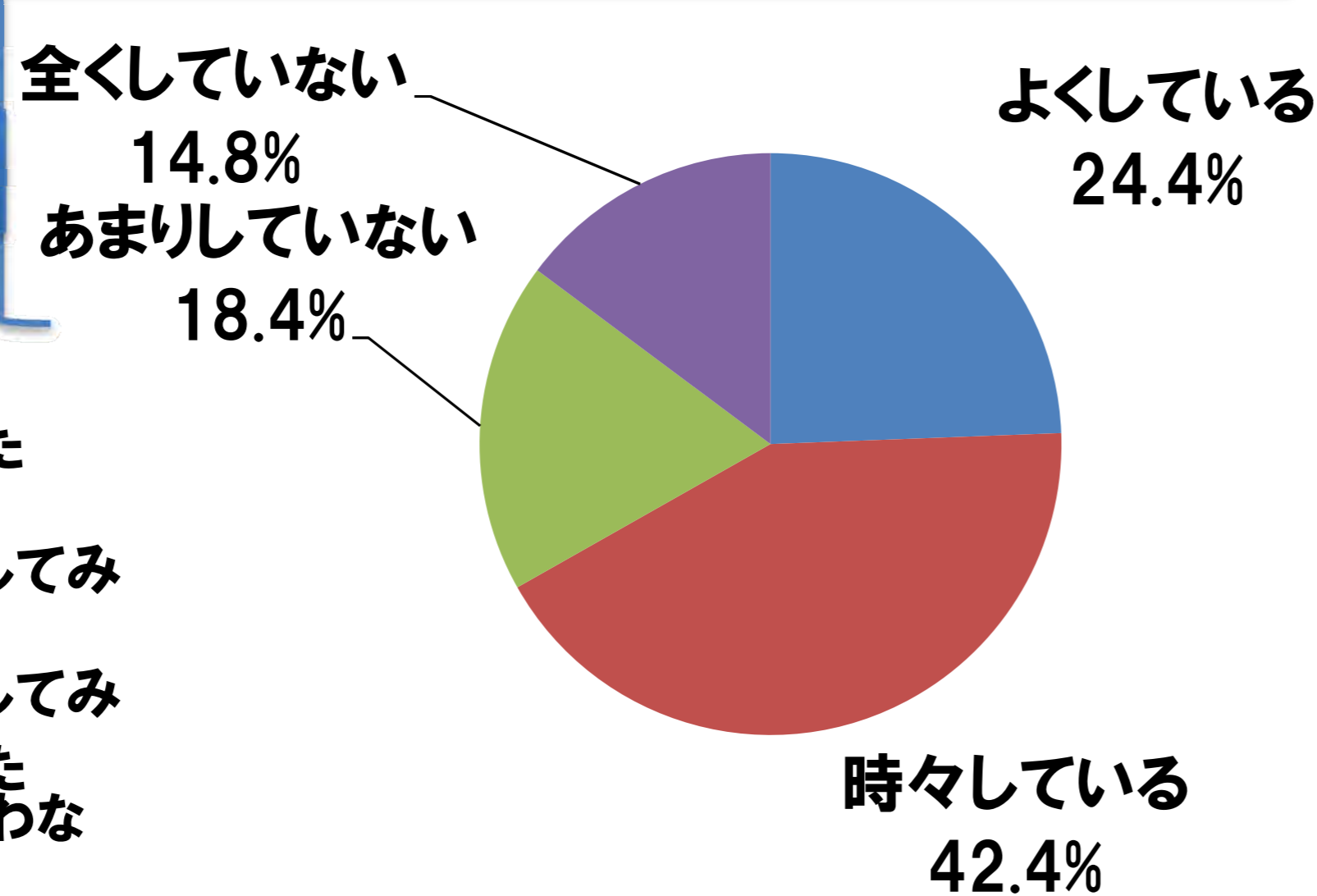
動画の「Point」の説明がわかりやすかった (N=500)



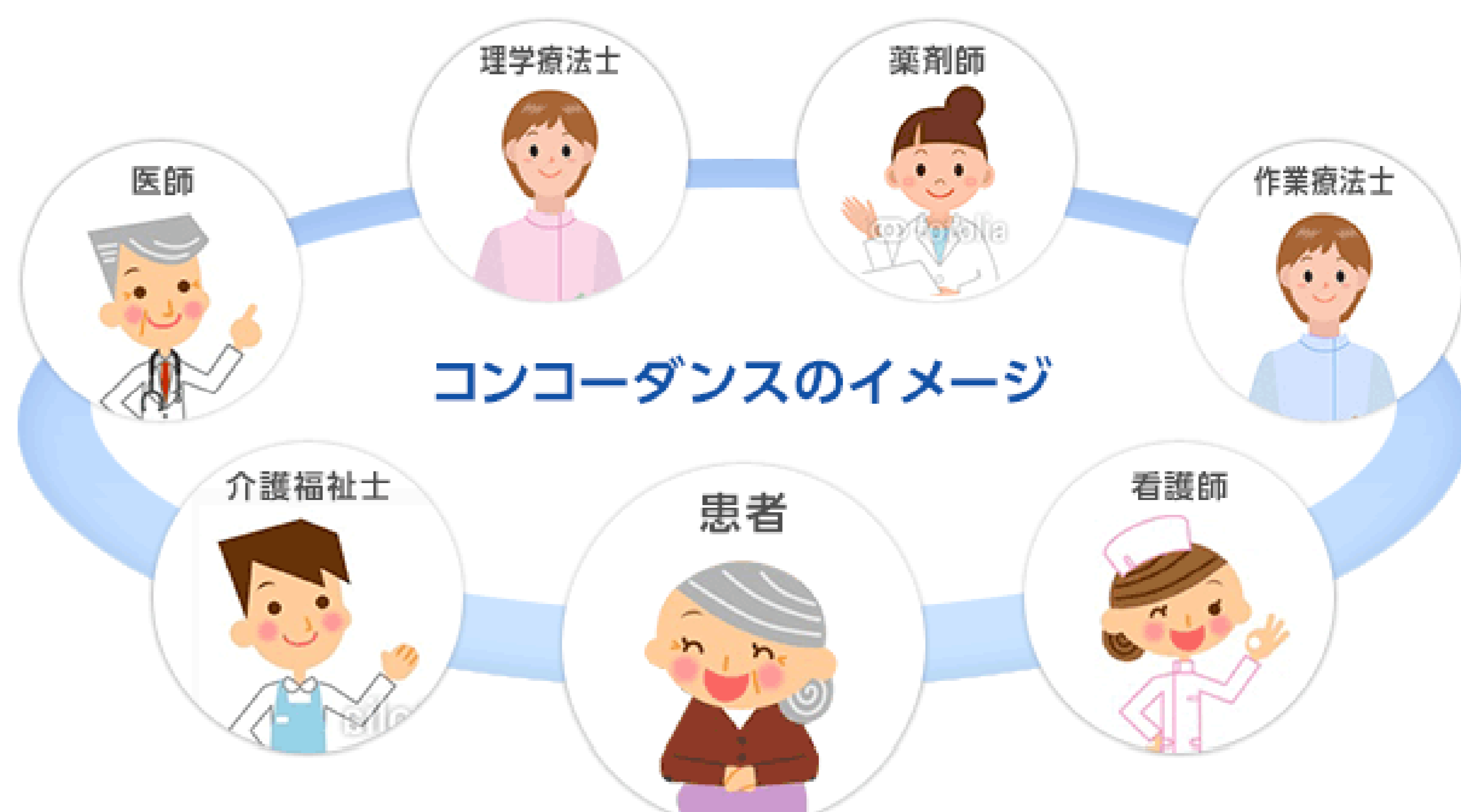
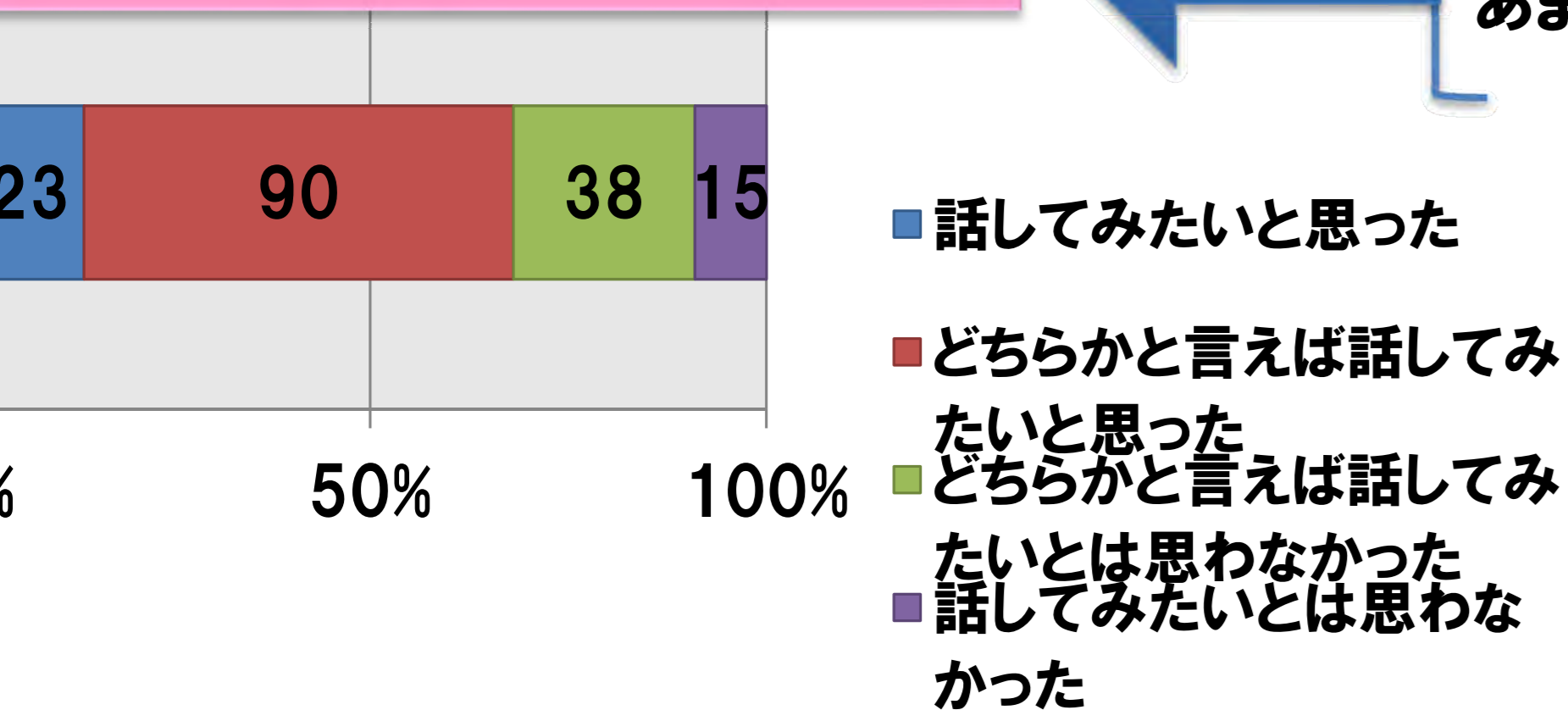
薬剤師に聞いてみたいこと(動画閲覧後、複数回答 N=500)



普段、薬局の薬剤師とどの程度コミュニケーションを取っていますか。(N=500)



今よりもっと薬剤師と話してみたいと思いませんか。(動画閲覧後、N=166)



【文献】
1) くすりの適正使用協議会. 医薬品および医療に関する意識調査 結果報告書. 平成22年10月